

さいたま市教組新聞

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2013. 5. 14 (火)
No. 201

学校予算は削減に次ぐ削減

トップダウンの施策で子どもと教職員は疲弊

5月5日告示されたさいたま市長選挙の投票日が近づいてきました。この4年間のさいたま市の教育を振り返ってみましょう。

現市長の下で、市民のくらしと福祉は大きく後退し、大型開発が我が物顔で進んでいきます。

学校教育に限っても、現市政で始まったドチャレ（土曜チャレンジスクール）や放課後チャレンジスクールは市内全ての小学校に広がりました。

市民受けの良い施策で人気をとっているようですが、学校教育全体では事態は異なります。



この1年間、現市長は市内の全ての小中学校訪問を行ってきました。各校の施設や設備をしっかりと視察して改善の施策を立てたか

といえば、答えは「いいえ」です。ただ「絆」の言葉を残して、児童生徒に笑顔を振りまいて学校を去っていきま

学校予算は削減に次ぐ削減

学校の教育活動を充実させる施策はどこまで進んだのでしょうか。学校予算は毎年5%削減、7%削減と、次々と削減されています。小学5年、中学2年

で実施されている少年自然の教室の補助金は大幅にカットされ、保護者負担が重くなっています。

予算の削減はありとあらゆる所に影響を及ぼしています。警備員の全日勤務が半日勤務になりました。

特別支援学級補助員の勤務時間が短くなり、年1回は学級の校外行事に付き添いできるように措置されていた旅費がゼロになりました。

さいたま市独自の小学5年と中学2年を対象とした学習状況調査は、担任が採点と集計をやることになりました。また昨年度まで業

怪我や急病の措置を病院で行う際に使われるタクシー券の学校配当枚数が年々少なくなっています。年度当初で見ると、一昨年度は50

枚、昨年度は30枚、今年度は10枚となっております。

また、児童生徒の健康診断がある繁忙期に保健室業務を補助する人員が配置されていたのが、予算が削られ人がつかなくなりまし

学級規模は政令市中

ワーストワン

さいたま市が誕生して以来、さいたま市教組も構成団体となって取り組んできた「30人学級の実現をめざす市民の会」の請願署名は10年間で39万8千筆

になりましたが、現市政は「国の動向を見守る」の一点張り、市独自の少人数学級をやるう

としません。19ある政令市の中で、小中学校の教員一人当たりの児童生徒数は一番多いのです。小学校で一番少ない京都市の16・8人に対し、さいたま市は22・0人で19

政令市中最下位です。中学校も一位の京都市14・0人に比べさいたま市は17・9人です。クラス単位で見ても、一学級当たりの児童

生徒数はやはり小中学校とも政令市中もっとも多いのです。

学テ・スポーツ

コンテストが教育か

さいたま市は「日本一の教育都市」を掲げています。実態はどうでしょうか。

教育条件は政令市中で最低ラインです。教育長が自慢気に口にしているのは、全国学力・学習状況調査で良好な結果を出していること、

某中学校が全日本吹奏楽コンクールで2年連続銀賞を取っていること、その他金管バンドの全国大会入賞、英語

大会での活躍など、スポーツやコンテストなど競争での活躍を列挙するばかりです。学校図書館司書の全

校配置、学級等支援員の配置、さわやか相談



員の配置等の施策は評価するものの、根本的な教育条件の整備には着手していないのが現状ではないでしょうか。

学校給食調理業務の民間委託、校務員の非正規化、用務員の民間委託、業者によるトイレ

子どもをモザイク状に見ていないか

「忙しくゆとりがないさいたま市の学校」が実態ではないでしょうか。研修漬けのさいたま市。しかもやる研修からやらされる研修

になっっていないでしょうか。報告文書は山ほどあります。調査やアンケートも同じような

物がいくつもありません。子どもと家庭のプライバシーに踏み込むような項目を平気で作る調査があります。数値で

子どもをモザイク状に見ていないでしょうか。さいたま市の教育はこのままで良いのでしょうか。新たな4年間をどうしたいのか、考えるのはいつですか。「今でしょ！」